

## 作物統計調査 令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 (東北)

— 10a 当たり予想収量は 583kg の見込み —

### 【調査結果の概要】

1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は35万8,400ha（前年産に比べ9,300ha増加）となった。うち主食用作付面積は31万9,800ha（前年産に比べ1万600ha増加）となった。

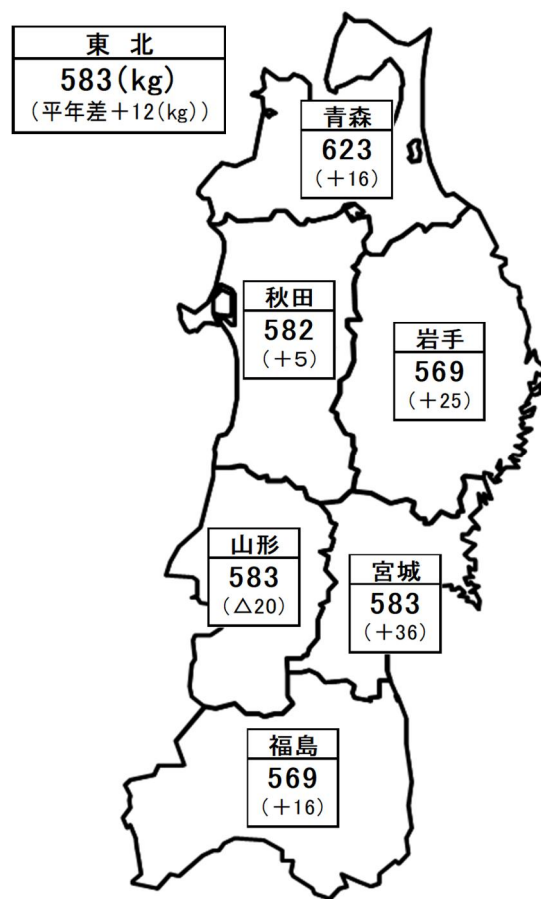
2 10月25日現在における水稻の10a 当たり予想収量は583kgと見込まれる。

これは、一部の地域で田植え後の低温や7月の日照不足等の影響があったものの、総じて天候に恵まれたためである。

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は209万1,000 t（前年産に比べ10万3,000 t 増加）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は186万5,000 t（前年産に比べ10万6,000 t 増加）と見込まれる。

4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は103と見込まれる。

図1 県別10a 当たり予想収量  
(10月25日現在)  
(1.70mmのふるい目幅ベース)



注：「△」は、減少を示している。

- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である（7ページの【参考1】参照）。
- 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である（7ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

## 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（8ページの【参考2】参照）。  
農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（東北）

単位：%

| 年 産        | 計     | 1.70mm以上<br>1.75mm未満 | 1.75<br>～1.80 | 1.80<br>～1.85 | 1.85<br>～1.90 | 1.90<br>～2.00 | 2.00mm<br>以 上 |
|------------|-------|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 令和元年産      | 100.0 | 0.6                  | 1.1           | 1.5           | 2.2           | 12.8          | 81.8          |
| 2          | 100.0 | 0.4                  | 1.0           | 1.4           | 2.3           | 11.5          | 83.4          |
| 3          | 100.0 | 0.6                  | 1.1           | 1.5           | 2.4           | 13.3          | 81.1          |
| 4          | 100.0 | 0.7                  | 1.2           | 1.5           | 2.4           | 13.9          | 80.3          |
| 5          | 100.0 | 0.4                  | 0.9           | 1.3           | 1.9           | 8.2           | 87.3          |
| 6<br>(概数値) | 100.0 | 0.5                  | 1.1           | 1.3           | 2.2           | 10.5          | 84.4          |
| 平 均 値      | 100.0 | 0.5                  | 1.1           | 1.4           | 2.2           | 11.9          | 82.9          |
| 対平均差（ポイント） | 0.0   | 0.0                  | 0.0           | △ 0.1         | 0.0           | △ 1.4         | 1.5           |

注：1 ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。  
2 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。  
3 「△」は、負数又は減少を示している（以下同じ。）。  
4

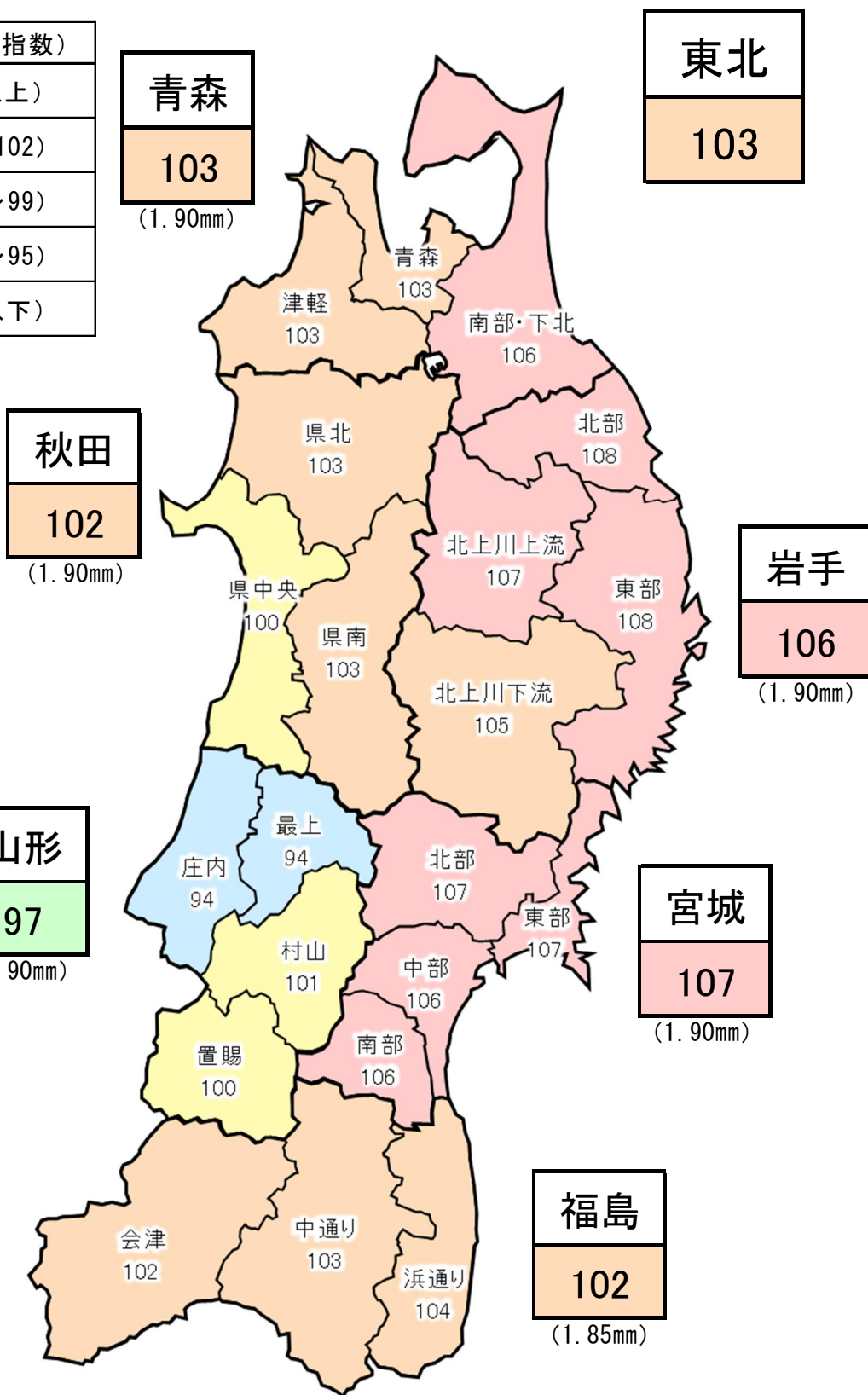
表2 ふるい目幅別 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（東北）

| 年 産        |            | 単位 | 1.70mm<br>以 上 | 1.75mm<br>以 上 | 1.80mm<br>以 上 | 1.85mm<br>以 上 | 1.90mm<br>以 上 | 2.00mm<br>以 上 |
|------------|------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 令和元年産      | 10 a 当たり収量 | kg | 586           | 582           | 576           | 567           | 554           | 479           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 2,239,000     | 2,226,000     | 2,201,000     | 2,167,000     | 2,118,000     | 1,832,000     |
| 2          | 10 a 当たり収量 | kg | 586           | 584           | 578           | 570           | 556           | 489           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 2,236,000     | 2,227,000     | 2,205,000     | 2,173,000     | 2,122,000     | 1,865,000     |
| 3          | 10 a 当たり収量 | kg | 581           | 578           | 571           | 562           | 548           | 471           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 2,110,000     | 2,097,000     | 2,074,000     | 2,042,000     | 1,992,000     | 1,711,000     |
| 4          | 10 a 当たり収量 | kg | 559           | 555           | 548           | 540           | 527           | 449           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 1,948,000     | 1,934,000     | 1,911,000     | 1,882,000     | 1,835,000     | 1,564,000     |
| 5          | 10 a 当たり収量 | kg | 569           | 567           | 562           | 554           | 543           | 497           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 1,988,000     | 1,980,000     | 1,962,000     | 1,936,000     | 1,899,000     | 1,736,000     |
| 6<br>(概数値) | 10 a 当たり収量 | kg | 583           | 580           | 574           | 566           | 553           | 492           |
|            | 収穫量（子実用）   | t  | 2,091,000     | 2,081,000     | 2,058,000     | 2,030,000     | 1,984,000     | 1,765,000     |
|            | 対前年比       | %  | 105           | 105           | 105           | 105           | 104           | 102           |

注：1 ふるい目幅別10 a 当たり収量とは、10 a 当たり（予想）収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。  
2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、（予想）収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）  
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）

| 区分 | 作柄の良否（作況指数）  |
|----|--------------|
|    | 良（106以上）     |
|    | やや良（105～102） |
|    | 平年並み（101～99） |
|    | やや不良（98～95）  |
|    | 不良（94以下）     |



注： 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。なお、東北は、県ごとの作付面積及び予想収穫量を積み上げて算出した数値である。

## 【調査結果】

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は35万8,400ha（前年産に比べ9,300ha増加）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた主食用作付面積は31万9,800ha（前年産に比べ1万600ha増加）となった（表3参照）。

- 2 10月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は、583kg（平年に比べ+12kg）と見込まれる。

これは、全もみ数が、青森県及び山形県では、田植え後の低温や7月の日照不足により平年に比べやや少なくなったものの、その他の県では、田植え期以降おおむね天候に恵まれ平年並み以上となったことに加え、登熟（もみの肥大、充実）が、福島県では、倒伏の影響によりやや不良と見込まれるものの、その他の県では、出穂期以降おおむね天候に恵まれ平年並み以上と見込まれるためである。

なお、県別の10a当たり予想収量は、青森県は623kg、岩手県は569kg、宮城県は583kg、秋田県は582kg、山形県は583kg、福島県は569kgが見込まれる（表3参照）。

- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は209万1,000t（前年産に比べ10万3,000t増加）と見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は186万5,000t（前年産に比べ10万6,000t増加）と見込まれる（表3参照）。

- 4 10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、前年産で最も多くの農家が使用していたふるい目幅である1.90mm以上の玄米の重量割合は94.9%と見込まれ、直近5か年平均値と比べて0.1ポイント高くなっている（表4参照）。

表3 令和6年産水稻の作付面積、10月25日現在の10a当たり予想収量及び予想収穫量

| 区 分 | 作付面積（子実用） |         |     | 10 a 当たり予想収量 |            |             | 予想収穫量（子実用） |         |     | 主 食 用<br>作付面積 | 予想<br>収穫量<br>（主食用） | 作況指数 |
|-----|-----------|---------|-----|--------------|------------|-------------|------------|---------|-----|---------------|--------------------|------|
|     | 実数        | 前年産との比較 |     | 実数           | 平年<br>との比較 | 前年産<br>との比較 | 実数         | 前年産との比較 |     |               |                    |      |
|     |           | 対差      | 対比  |              |            |             |            | 対差      | 対比  |               |                    |      |
|     | ①         |         |     | ②            |            |             | ③＝①×②      |         |     | ④             | ⑤＝④×②              | ⑥    |
|     | ha        | ha      | %   | kg           | kg         | kg          | t          | t       | %   | ha            | t                  |      |
| 東 北 | 358,400   | 9,300   | 103 | 583          | 12         | 14          | 2,091,000  | 103,000 | 105 | 319,800       | 1,865,000          | 103  |
| 青 森 | 42,400    | 1,900   | 105 | 623          | 16         | 9           | 264,200    | 15,500  | 106 | 37,200        | 231,800            | 103  |
| 岩 手 | 45,500    | 300     | 101 | 569          | 25         | 18          | 258,900    | 9,800   | 104 | 43,100        | 245,200            | 106  |
| 宮 城 | 62,800    | 1,900   | 103 | 583          | 36         | 17          | 366,100    | 21,400  | 106 | 58,400        | 340,500            | 107  |
| 秋 田 | 84,200    | 1,200   | 101 | 582          | 5          | 30          | 490,000    | 31,800  | 107 | 72,200        | 420,200            | 102  |
| 山 形 | 60,800    | △ 200   | 100 | 583          | △ 20       | △ 6         | 354,500    | △ 4,800 | 99  | 52,400        | 305,500            | 97   |
| 福 島 | 62,700    | 4,300   | 107 | 569          | 16         | 8           | 356,800    | 29,200  | 109 | 56,500        | 321,500            | 102  |

注：1 ①作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WC S用稲等を含む。）を除いた面積である。  
2 ②10a 当たり予想収量、③予想収穫量（子実用）及び⑤予想収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
3 ④主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である。  
4 東北の①作付面積（子実用）及び④主食用作付面積は、県ごとの積上げ値と一致しない場合がある。  
5 東北の③予想収穫量（子実用）及び⑤予想収穫量（主食用）は、県ごとの積上げ値であるため、「①作付面積（子実用）×②10a 当たり予想収量」及び「④主食用作付面積×②10a 当たり予想収量」の計算値と一致しない場合がある。  
6 ⑥作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県は1.90mm、福島県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

単位：％

| 区 分 |            | 計     | 1.70mm以上<br>1.75mm未満 | 1.75<br>～1.80 | 1.80<br>～1.85 | 1.85<br>～1.90 | 1.90<br>～2.00 | 2.00mm<br>以 上 |
|-----|------------|-------|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 東 北 | 重量割合       | 100.0 | 0.5                  | 1.1           | 1.3           | 2.2           | 10.5          | 84.4          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.5                  | 1.1           | 1.4           | 2.2           | 11.9          | 82.9          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | 0.0                  | 0.0           | △ 0.1         | 0.0           | △ 1.4         | 1.5           |
| 青 森 | 重量割合       | 100.0 | 0.6                  | 0.9           | 1.0           | 1.5           | 8.2           | 87.8          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.6                  | 0.9           | 1.3           | 1.7           | 9.8           | 85.7          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | 0.0                  | 0.0           | △ 0.3         | △ 0.2         | △ 1.6         | 2.1           |
| 岩 手 | 重量割合       | 100.0 | 0.4                  | 0.9           | 1.0           | 1.7           | 7.7           | 88.3          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.6                  | 0.9           | 1.2           | 1.8           | 9.7           | 85.8          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | △ 0.2                | 0.0           | △ 0.2         | △ 0.1         | △ 2.0         | 2.5           |
| 宮 城 | 重量割合       | 100.0 | 0.4                  | 1.0           | 1.5           | 2.7           | 13.0          | 81.4          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.5                  | 1.0           | 1.4           | 2.3           | 13.8          | 81.0          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | △ 0.1                | 0.0           | 0.1           | 0.4           | △ 0.8         | 0.4           |
| 秋 田 | 重量割合       | 100.0 | 0.5                  | 1.0           | 1.3           | 2.3           | 10.3          | 84.6          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.6                  | 1.2           | 1.7           | 2.5           | 11.5          | 82.5          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | △ 0.1                | △ 0.2         | △ 0.4         | △ 0.2         | △ 1.2         | 2.1           |
| 山 形 | 重量割合       | 100.0 | 0.5                  | 1.0           | 1.3           | 2.4           | 11.9          | 82.9          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.5                  | 1.0           | 1.2           | 2.3           | 13.5          | 81.5          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | 0.0                  | 0.0           | 0.1           | 0.1           | △ 1.6         | 1.4           |
| 福 島 | 重量割合       | 100.0 | 0.6                  | 1.6           | 1.8           | 2.5           | 10.4          | 83.1          |
|     | 平 均 値      | 100.0 | 0.5                  | 1.3           | 1.6           | 2.5           | 12.4          | 81.7          |
|     | 対平均差（ポイント） | 0.0   | 0.1                  | 0.3           | 0.2           | 0.0           | △ 2.0         | 1.4           |

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

表5 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）（10月25日現在）

| 区 分 |            | 単位 | 1.70mm<br>以 上 | 1.75mm<br>以 上 | 1.80mm<br>以 上 | 1.85mm<br>以 上 | 1.90mm<br>以 上 | 2.00mm<br>以 上 |
|-----|------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 東 北 | 10 a 当たり収量 | kg | 583           | 580           | 574           | 566           | 553           | 492           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 2,091,000     | 2,081,000     | 2,058,000     | 2,030,000     | 1,984,000     | 1,765,000     |
| 青 森 | 10 a 当たり収量 | kg | 623           | 619           | 614           | 607           | 598           | 547           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 264,200       | 262,600       | 260,200       | 257,600       | 253,600       | 232,000       |
| 岩 手 | 10 a 当たり収量 | kg | 569           | 567           | 562           | 556           | 546           | 502           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 258,900       | 257,900       | 255,500       | 252,900       | 248,500       | 228,600       |
| 宮 城 | 10 a 当たり収量 | kg | 583           | 581           | 575           | 566           | 550           | 475           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 366,100       | 364,600       | 361,000       | 355,500       | 345,600       | 298,000       |
| 秋 田 | 10 a 当たり収量 | kg | 582           | 579           | 573           | 566           | 552           | 492           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 490,000       | 487,600       | 482,700       | 476,300       | 465,000       | 414,500       |
| 山 形 | 10 a 当たり収量 | kg | 583           | 580           | 574           | 567           | 553           | 483           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 354,500       | 352,700       | 349,200       | 344,600       | 336,100       | 293,900       |
| 福 島 | 10 a 当たり収量 | kg | 569           | 566           | 556           | 546           | 532           | 473           |
|     | 収穫量（子実用）   | t  | 356,800       | 354,700       | 349,000       | 342,500       | 333,600       | 296,500       |

注：1 ふるい目幅別10a 当たり収量とは、東北及び各県の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別収穫量（子実用）とは、東北及び各県の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。したがって、東北のふるい目幅別収穫量は、各県別のふるい目幅別収穫量の積上げ値と一致しない場合がある。

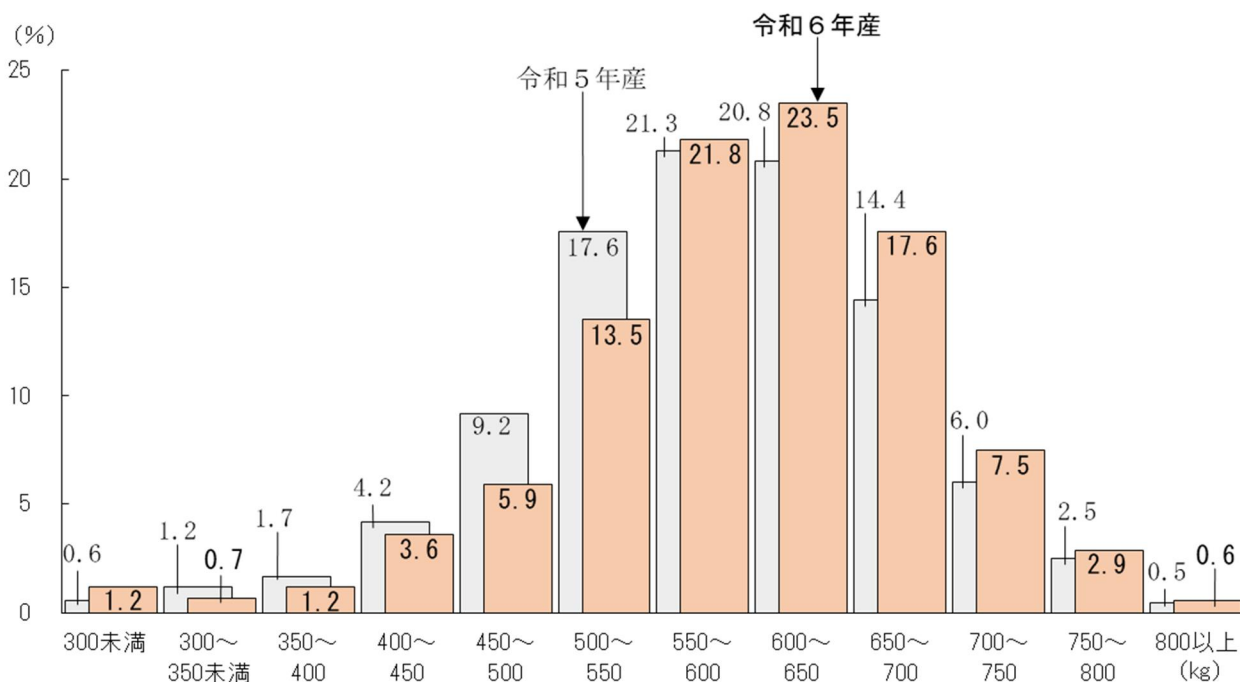
表6 令和6年産水稻作況標本筆の10a 当たり玄米重分布状況（10月25日現在、東北）

単位：％

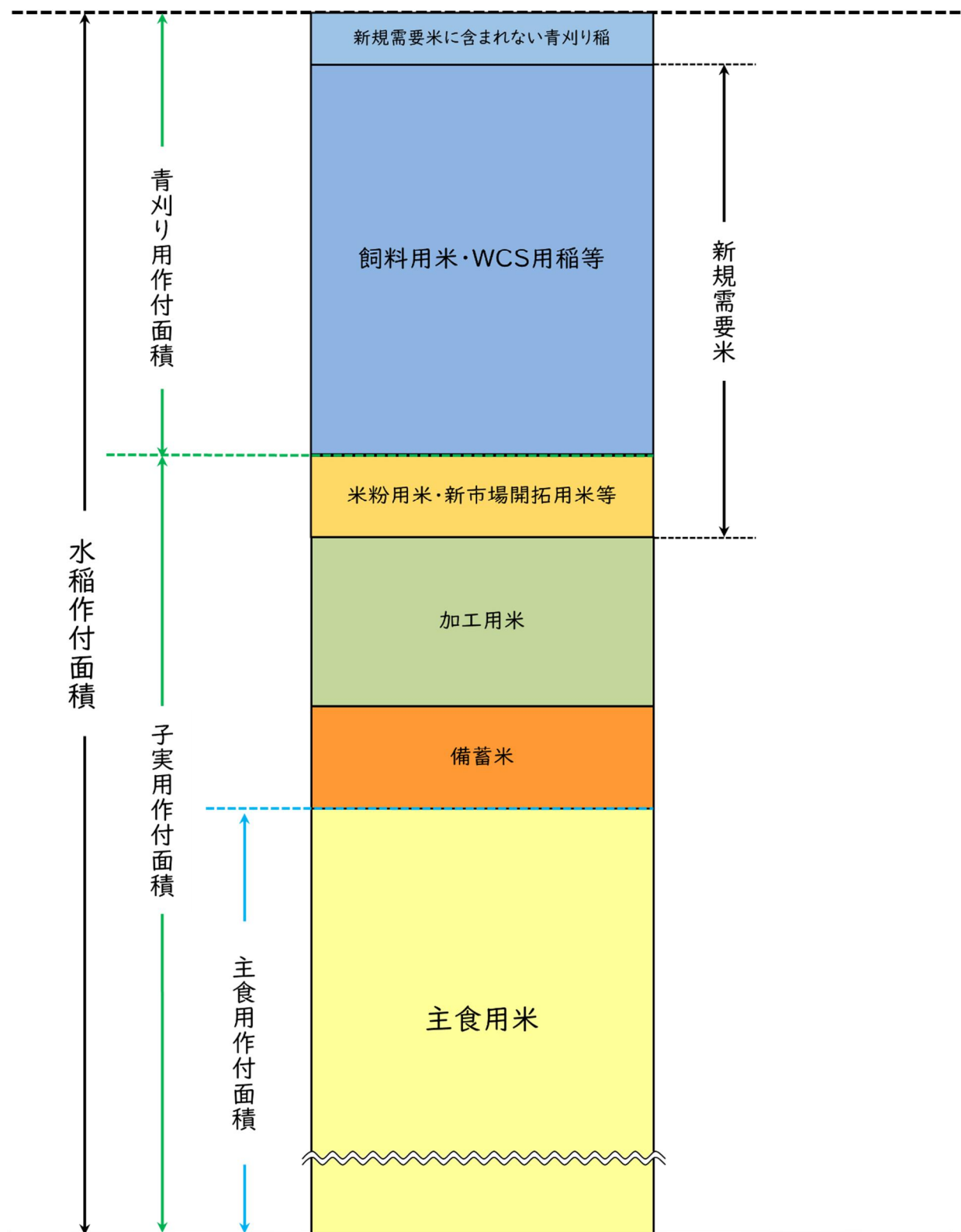
| 区 分        | 計     | 300kg<br>未 満 | 300<br>～350 | 350<br>～400 | 400<br>～450 | 450<br>～500 | 500<br>～550 | 550<br>～600 | 600<br>～650 | 650<br>～700 | 700<br>～750 | 750<br>～800 | 800kg<br>以 上 |
|------------|-------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 筆数割合       | 100.0 | 1.2          | 0.7         | 1.2         | 3.6         | 5.9         | 13.5        | 21.8        | 23.5        | 17.6        | 7.5         | 2.9         | 0.6          |
| 前 年 値      | 100.0 | 0.6          | 1.2         | 1.7         | 4.2         | 9.2         | 17.6        | 21.3        | 20.8        | 14.4        | 6.0         | 2.5         | 0.5          |
| 対前年差(ポイント) | 0.0   | 0.6          | △ 0.5       | △ 0.5       | △ 0.6       | △ 3.3       | △ 4.1       | 0.5         | 2.7         | 3.2         | 1.5         | 0.4         | 0.1          |

注：10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

図3 令和6年産水稻作況標本筆の10a 当たり玄米重分布状況（10月25日現在、東北）



## 水稻作付面積の概念図

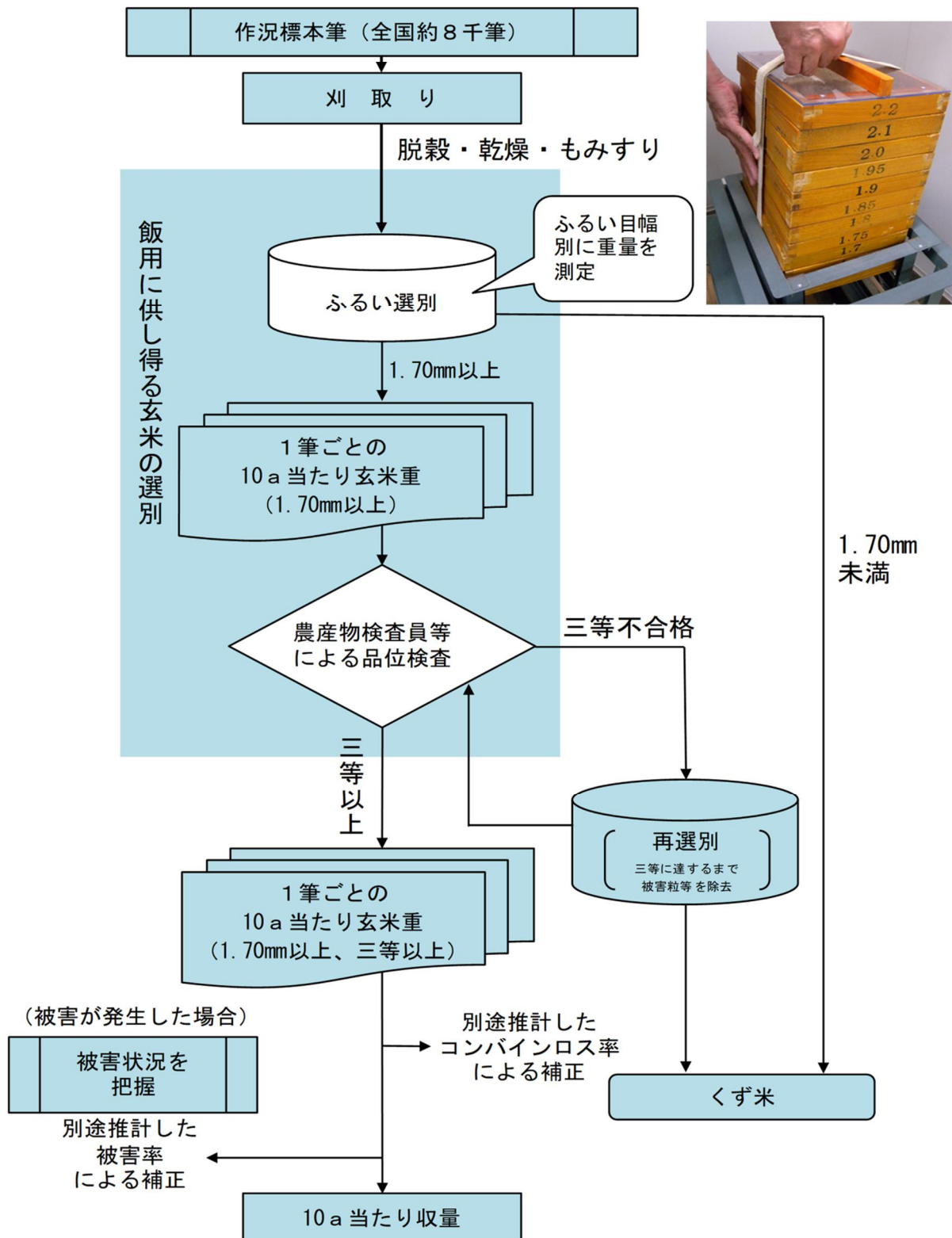




【参考 2】

## 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mmで選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



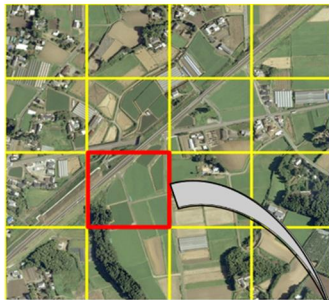


### 【参考 3】

## 作況標本筆<sup>ふで</sup>とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地  
（母集団）



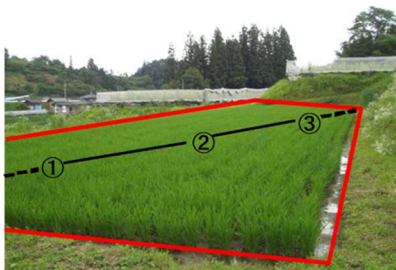
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区  
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆  
（全国で約8千筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

## 【統計表】

[https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/sakumotu/sakkyou\\_kome/index2.html](https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/sakumotu/sakkyou_kome/index2.html)

## 【調査の概要】

- ・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/)

## 【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

## 【ホームページ掲載案内】

- ・ 全国の農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/>



- ・ 全国の結果は、農林水産省ホームページの「統計情報」に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/#y4](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4)



- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和7年2月予定）します。
- ・ 次回（収穫期）の公表は、令和6年12月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

## 【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

各都道府県の生育状況等：米ネット（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構）＞  
水稻の生育状況・技術情報リンク集

<https://www.komenet.jp/linkshuu/suitolink/>

#### お問合せ先

##### ◎本統計調査結果について

東北農政局 統計部 生産流通消費統計課

電話：（代表）022-263-1111 内線4724、4728  
（直通）022-745-9379

##### ◎農林水産統計全般について

東北農政局 統計部 統計企画課

電話：（代表）022-263-1111 内線4713  
（直通）022-745-9378



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



5年に1度の一斉調査

2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を実施します。

調査期間

令和6年12月中旬～令和7年 2月末 農林業経営体調査

令和7年 1月中旬～令和7年 2月末 農山村地域調査（市区町村調査）

令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いいたします。

また、調査票はオンラインによる回答も可能です。



**農林業センサス**

農林業センサス 2025

